

## トヨペット コロナ・マークⅡ EFI修理書訂正表

48. 9. 26

トヨペット コロナ・マークⅡ EFI修理書（1973-8、品番68956）中において、一部変更および誤りがありましたので、ここにお詫びとともに訂正いたします。

なお添付の別紙を修理書該当ページへ貼りつけていただきますようお願いします。

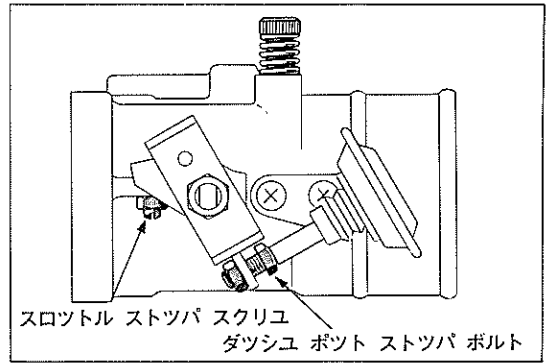
頁	個 所	誤	正
5	上から5行目	18R-E圧縮比 9.2	9.1
19	上から2行目	約70°Cで全開……	約70°Cで全閉……
28	第2-23図中		ACC <sub>1</sub> とACC <sub>2</sub> を逆にする
46	第3-11図中	ACC <sub>2</sub> 位置	添付別紙
50	第3-20図中		ACC <sub>1</sub> とACC <sub>2</sub> を逆にする
65	コネクタ結線図RT (18R-E)		添付別紙
66	” RX (18R-E)		添付別紙

以 上

5 ダツシュ ポットを調整する

アイドル回転調整後、ストツパ ボルトがダツシュ ポットに接触するまで戻し、さらに1 $\frac{1}{4}$ 回転戻した位置でロックする。

基準位置 タツチ後1 $\frac{1}{4}$ 回転戻し  
(有効ストローク2.1±0.3mm)



第3-10図 ダツシュ ポット調整

S1760

アクセラ センサ取り付け位置点検, 調整  
点 検

右図のようにサーキット テスタ (抵抗計) をアクセラ センサのコネクタに当てがう。

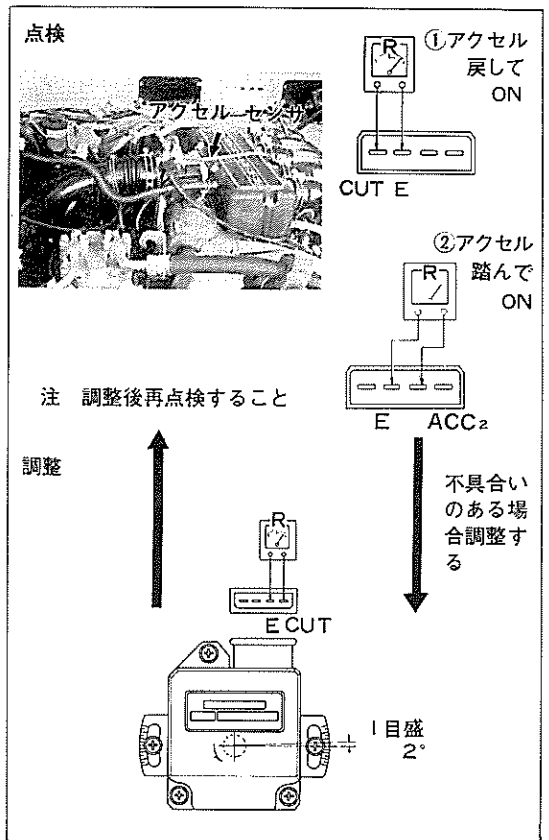
- ① アクセルを完全に戻す直前にE~CUT間の導通 (ON) が始まれば良い。
  - ② アクセルが戻っているとき E~ACC<sub>2</sub> 間の導通はない (OFF)。
- アクセラを踏むと同時に E~ACC<sub>2</sub> 間の導通 (ON) が始まればよい。

調 整

- 1 スロットル バルブ全閉状態で センサを仮止めする。
- 2 センサの端子 (CUT~E間) にテスト棒を当てがう。
- 3 センサを反時計方向にまわし、CUT~E間に導通が始まる点を見つける。
- 4 3で見つけた点からさらに1.5° (3/4目盛半) 反時計方向にまわして固定する。
- 5 固定した後、作動を再点検する。

点 検

点検の項の作業内容を繰返す。

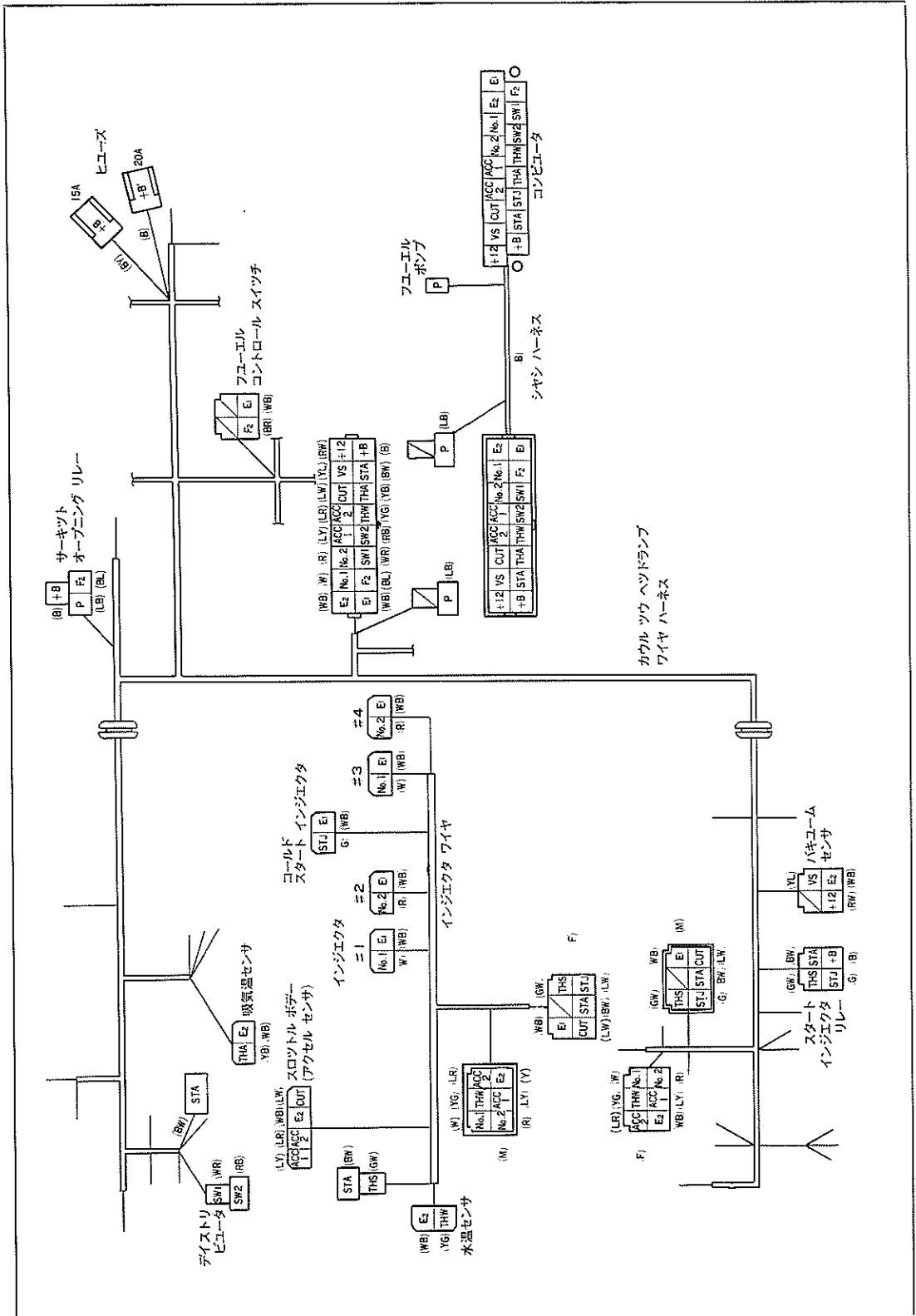


第3-11図 アクセル センサ  
点検, 調整

C3495 S3525 3526



コネクタ結線図 RX (18R-E)



S3519